

いわみぎわ



IWAMIZAWA

発行所 陸上自衛隊 隊地会誌
岩見沢市Bの台1-3
印刷所 北海道立福祉村
空知郡栗沢町上350
TEL (0126) 45-2721

迎春



滝川市ひつじの館

年頭の辞

第十二施設群長兼
岩見沢駐屯地司令
一等陸佐 寺村誠士



しており、地域における駐屯地の評価も高まりつつあります。このように大きな問題はあつたものの、駐屯地にとっては素晴らしい一年であつたと確信します。

岩見沢駐屯地の隊員諸君
新年おめでとうございませう。
昨年、湾岸危機の勃発と国連平和協力法案の廃案、米ソ冷戦構造破壊に伴う防衛力整備ベース低下圧力の増大ひいては陸自十八万人定員削減意見の提出、募集難に伴う充足率の低下等陸自組織の根幹にかかわる外患内憂の年でありました。

岩見沢地域では、我々に深い愛情を注いで頂いた国兼市長が勇退され、自衛隊に深い理解を有しておられる能勢市長が就任、新しい一歩を踏み出しました。

岩見沢駐屯地にあつては、第十二施設群が全国で始めて、海上を使用した水際地雷原構成訓練を実施し、施設団内のみならず北部方面隊諸隊から絶賛をいただきました。

また、駐屯地業務隊は、日頃の成果を認めて頂き、方面総監から第三級賞状の栄誉を受けました。

駐屯地施設も体育館、食堂厨房やテニスコートが新築され、着実に環境が改善されました。

給与面でも、若年定年退職者給付金制度や役職加算制度等特異な制度が導入され家計を潤すことができました。

地域と駐屯地の関係は、御家族共々隊員諸官の休日を上した活発な行事支援・参加により極めて良い方向に進展

年頭のご挨拶

自衛隊協力会
会長 笠原喜平治



明けましておめでとうございませう。皆様には健やかに新春を迎えられましたことを心から祝福申し上げます。

扱って昨年は世界的にも極めて激動の年でありました。東西両ドイツの統一という画期的な民族の統合がなされました。またソ連に於ける経済の崩壊（共産主義の崩壊）の状況が次から次へと伝わって参りまして、ベストロイカをせざるを得ない理由もより認識いたしましたのであります。更にイラクのクウェートへの侵攻による国連を中心とする多国露軍とイラク軍との対峙、日本は国際協調の中で如何に貢献すべきか、自衛隊はそのために存在すると思われていた筈のものが憲法にふれるといふことで国際平和協力法案も流れて今年に持越されたわけでありませう。昨年は特に自衛隊が大きくクローズアップされました年でありました。

目下この協力策の検討がなされておられ、自衛隊を含まない、警察とか、消防とか、海上保安などにたづさわる方々、文民を中心とした部隊の創設など考えておられるようでありませう。一方ではプロの自衛隊がありながら、なんと難しいものなです。このことは永年タブーとして手をつけてこなかったツケでもあると思ひます。

平成3年
訓練 始め

6 km機動に出発

部隊長新年のあいさつ

業務隊長
二等陸佐 岡本 晃



られました。反面、自衛隊は、何のためにあるのか、という存在意義を高め、必ずしもマイナスイメージを醸成しないようにしたいと思います。

新年おめでとうございませう。駐屯地の環境づくりも、ほぼ順調に進み、体育館、食厨房、管理官倉庫の建設、整備工場の照明アップ、日の出倉庫の水洗化、道路舗装、また、隊員の皆さんの協力により、テニスコートの新設、桜植樹、浮き橋の架け換えが、衛星放送も見られるようになりました。

今年、これらの設備を効果よく使おうと共に、内部を充実して、住みよい駐屯地にしましょう。

このため、特に、厚生正面のサービス向上に力を入れていきたいと思っております。皆さんの協力をお願いします。貸ビデオテープも増加します。利息のよい共済組合貯金へCDからの移し換え、スピーカーよりも安い直営売店、女性ではかなわないが安さが身上的の隊員クラブ、皆さんの為の施設なので、かわいがってやって下さい。

さて、今年もやるぞ！
本部管理中隊中隊長
一等陸尉 鈴木 高義



隊員及び御家族の皆様には、良い正月を迎えられたと思います。

昨年、中東の高岸危機に對する国連平和協力法案で自衛隊の海外派遣をめぐって、激しく論議されましたが、我々自衛官を無視したような内容もあり、腹立たしくも感じ

は国土防衛である。平時において部隊の精強度を測る尺度の頂点に立つものは訓練の優劣である。この訓練の優劣が訓練検閲の評価以上に精強度の基準であるような風潮があるが、それは大きな間違いである。そのような風潮は打破しなければ真に有事に役立つ部隊の育成は望めない。戦技は、有事に困難な状況で必要となるため、任務を達成するために必要な体力、気力を養う事を目的として練成する各個人訓練である。決して部隊訓練より高い地位にあるものではない。五中隊は、真に精強な部隊を目指して訓練を最優先に隊務を運営する。

黄否両論在るかと思いが、五中隊は、本年もこの信念を曲げず、真に精強な部隊を練成し、日々隊務を運営してゆく所存です。

第三三三施設中隊長、世界一精強な中隊を目指し、前進！
第三二二施設器材中隊長
一等陸尉 柿木 義人

新年明けましておめでとうございませう。駐屯地にとっても新しいことが数多くありました。

駐屯地においては、体育館、食堂、厨房の落成、群・中隊における各方面施設訓練における木造障子の構成、海岸における架橋訓練、黒ぼく道の構築、生石灰による土壌改良、多田の山腹道構築、加えて中隊は特大ダンブの整備によるダンブ作業、テニスコートの構築等貴重な訓練が出来た実り多い年でありました。

また、国際情勢もドイツの統一、中東高岸問題、ソ連のペレストロイカ等、大きな変化がありました。

先行き不透明感も有りますが、国際平和を願いつつ、更に精強な中隊を目指して訓練を重ね、充実した一年にしたいと思います。

皆様の御指導・御協力をお願い申し上げますと共に、今年一年の御多幸と御発展をお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。

事件や事故を防止するには、隊員の皆さん一人一人の努力と注意が必要です。交通事故や違反は、ハンドルを握るあなたの心がけ一つでいくつでも防止できます。訓練事故も、それぞれ部署において任務の理解と安全管理を十分にやっておけば、未然に防止することは可能な筈です。

第三七七會計隊長
一等陸尉 大川内勝之
「何事にも関心を」

年号が平成と替わり早や三年目を迎えました。

その間、いろいろなものが目まぐるしく変わり、情報の氾濫で私たちが自分自身の必要な情報を得ることなく、つまみ食い状態に陥る必要に迫られております。

社会の情勢にとり残されぬよう、なんらかの関心を持つことが引いては個人及び家族の幸福・コミュニケーションに役立つものと思わしむ。我々会計マンは、関係ある情報はできるだけ早く皆さんに知らせよう努力致します。いろいろな税金の相談も遠慮なく相談してください。今年も私以下会計隊員を宜しくお願い致します。

岩見沢駐屯地の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

平成二年度は大きな事件・事故もなく、無事終了しました。新たな年、平成三年もこうあってほしいものです。そのために我々が一致協力して事件や事故の防止に努めましょう。

昨年、基盤固めの予定が、幸運にも持続走競技会で優勝することができ、最高のスタートをきりました。改めて三三六施中の中隊長になれて良かったと感じていると同時に、隊員一人一人の潜在力を実感している次第です。

今年、昨年固めた基盤をもとに、訓練戦技等全てにおいて群の牽引中隊となり、強いては陸群長に「中東派遣は三三六中隊に任せよう」と言わしめる中隊になれるべく前進します。乞ふ御期待！

新年おめでとうございませう。我々自衛官にとり、平和な正月を迎えられるということは、幸せなことだと思います。

昨年三月、名寄駐屯地に赴任し、早や九月が過ぎ去り、まさしく「アツ」という間の一年でした。この間の中隊長の走行距離が、約二万一千キロメートルになり、岩見沢名寄間における、警察の速度違反取締箇所を十分に把握したことは、大いなる成果でもありました。

第三七七施設中隊長 一等陸尉 吉田 吉彦

明けましておめでとうございませう。

昨年、イラクのクウェート侵攻で自衛隊の在り方の真意を問われた年で、皆さんも種々考えられたでしょう。

各国は、たとえ平和モードにあっても軍事力の量的削減を拒んで、兵器の近代化等による質的充実への努力は怠りません。

自衛隊には、防衛の無関心や豊かさによる若者の三K嫌いや等々抵抗するため、艦対艦画等諸施設の逐次の実現により、施設の環境改善、処遇改善、サービスの改善等が自衛隊の存続を賭けて進められ充実しつつあります。反面、自衛官本来の姿を失う危険性を孕んでいます。

消防士が火消しのプロなら私達は自衛官として国防のプロなのです。

今年、融和と精強を共存させ、時代に合った中隊の育成を念頭に「目標を持ち憤気実行」を合言葉に、やる気を振起して頑張ります。

中隊の諸君！今年、私と皆で事故防止。地位、職責、給与以上の実力発揮で自己実現。そして伝統ある中隊の育成に邁進しよう！

第三四二施設中隊長
三等陸佐 新町 一秀



新年おめでとうございませう。我々自衛官にとり、平和な正月を迎えられるということは、幸せなことだと思います。

第三四四基地通信中隊長 三等陸尉 吉田 治

新年あけましておめでとうございませう。

元年八月基通隊長として着任以来早いもので、二度目の冬を迎えました。

この間駐屯地放送装置の更新、テレビ衛星放送工事、電話ケーブルの張り替え及びコンクリート柱の立替工事、新印刷電信システム器材の導入等を実施して参りました。

今、世の内外ともに急激に変化しつつありますが、通信もまた例外ではありません。近い将来基地通信はデジタル通信時代を迎えます。新しい通信、早い通信、確実な通信を目指しさらに前進すべく、駐屯地の通信を担う部隊として、また駐屯地の声の玄関として、我々基地通信隊員が一丸となって隊務に全力を尽くす所存です。

駐屯地隊員の皆様並びに御家族の皆様共々の益々の御健康を祈念し新年の御挨拶と致します。

（順不同）

年男年女

第三六施設中隊
陸士長 藤井 信彦



私も今年で二十四歳、未年生まれの年男となります。成人式を終え早くも四年、まさに光陰矢の如しです。

振り返ってみると、生まれてこの年になるまでの間、私は、多数の方々に迷惑をかけてきて、「悪い事なら俺に任せろ」の車道で両親もあきれ返るほどの生き方をしてきました。

良い事をしたといえ、あまり記憶がなく、良い思い出というのありません。

しかし、今は違います。

私も今年陸士長に昇任するので先輩、後輩達に愛されるように、中隊の働き蜂となり、後輩達をぐんぐん引っ張っていきける先輩として努力します。そして、早く両親や以前、勤務した第十三施設大隊の先輩に変身した私の姿を見せたいと思います。

今年の藤井信彦に注目していただく。期待を裏切らないように頑張ります。

基地通信隊
技官 松田 由佳



明けましておめでとうございます。今年、年女を迎え、時の流

れの早さを、しみじみと実感してしまっています。

こんなに早く過ぎてゆく時間、「ちよっとまった」と言いたくなるような気持ちです。

仕事を始めて、六年が過ぎようとしています。まだまだ未熟です。

岩見沢駐屯地の声の支関として、親切に丁寧に、恥ずかしくないよう努めていきたいと思っています。

そして、色々な面で、少しでも向上していけるように、一日一日を大切に過ごしてゆきたいと思っています。そんな私ですが、これからも、よろしくお願ひ致します。

本部管理中隊
一等陸士 織田 邦子



昨年私は、新隊員教育課程を終え、出身地であるこの岩見沢駐屯地第十二施設群に配属となり、ワック一号として不安と希望の中、胸をドキドキさせながらここに岩見沢にきました。

そして私は、本部管理中隊に配置となり、第十二施設群本部の第一科で庶務係の仕事に命じられました。何をやるにも初めての事で、どうしたらよいか、わからず困ってしまいう毎日、その都度皆さんに指導を受けつつ、どうにか任務を遂行しています。

そうして、教育終了から早三カ月がたちアツという間に入隊から一年が過ぎました。

今年、年女であり、飛躍の年、昨年の失敗を心におき、次の三点を目標にし、大いに頑張ろうと思います。

まず第一に、自衛官としての自覚を深めると共に、仕事の内容を早く覚える事。

第二に、ワック第一号として、今年入隊する後輩に指導できるようにする事。

第三に、大型免許資格取得に積極的にチャレンジする事。この目標を一つずつ達成出来るよう精一杯努力し、男子隊員に負けぬようにしたいと思っています。

本部管理中隊
三等陸曹 新原 春義



年男を辞典で引くと「新年の儀式節分の豆まきなどを行う男子」とある。

節分生まれの私は、正に年男飛躍の年として男二十四歳頑張ります。

第三七施設中隊
陸曹長 山崎 義浩



新年を迎え、本年三尉に昇官する私は、その責任を自覚し、良き初級幹部になれるよう努力しようと思っています。

第三三六施設中隊
三等陸曹 村上 博之



「えっ今年の抱負ですか」「こちらに来て三年目を迎える年ですから、更に仕事に邁進したいと思っています。」

今年結婚します。だろが。。(付准尉)

第三五施設中隊
三等陸曹 岩崎 剛

年男として、何事にも妥協しない一年にしたい。

精神、肉体、仕事、女！そして羊毛のような暖かい男でありたい。

第三二二器材中隊
陸士長 佐々木千昭



私は、今年三月に自衛隊を満期退職しますが、残り少ない自衛隊生活を全うし、また自衛隊で学んだことを生かして新しい職場で頑張るつもりです。

私は、今年三月に自衛隊を満期退職しますが、残り少ない自衛隊生活を全うし、また自衛隊で学んだことを生かして新しい職場で頑張るつもりです。

平成3年 新年の抱負

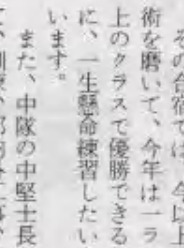
平成二年という年は私にとって生涯忘れ難い事のない年となりました。

十一月下旬に行われた、全道自衛隊のパドミントン大会に参加し、個人戦二部シングルスで優勝という素晴らしい成績をあげることが出来ました。と同時に平成三年三月に行われる自衛隊北海道の合宿に参加させていただくことに決まりました。

その合宿では、今以上に技術を磨いて、今年は一ランク上のクラスで優勝できるように、一生懸命練習したいと思います。

また、中隊の中堅士長として、訓練、部内外工事、各種競技会にも積極的に参加したいと思っています。

第三三七施設中隊
二等陸曹 鎌田 久義



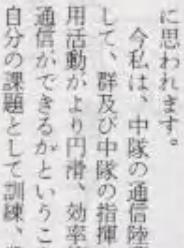
「国の防人」として、こころざしを高く、自衛隊の門をくぐってからは、早や十八年の年月になるとともに、私も三度目の年男を迎えることになりました。

入隊から現在までは、与えられた任務をただ忠実に遂行するために邁進してきたように思われます。

今私は、中隊の通信陸曹として、群及び中隊の指揮、運用活動がより円滑、効率的に通信ができるかということ自分の課題として訓練、業務

「国の防人」として、こころざしを高く、自衛隊の門をくぐってからは、早や十八年の年月になるとともに、私も三度目の年男を迎えることになりました。

第三四二施設中隊
陸士長 大沼 穰



二 有・無線器材の可動率一〇〇パーセントの確保

三 隊員の通信への関心と理解

以上の事です。この中でも、二の項については、演習及び訓練中に通信が、器材のトラブルのため指揮活動の混乱を引き起こす原因ともなりかねないので、それを予防するためにも器材準備から訓練間と機会ある毎に異常の有無の確認、機能点検を実施する。

また、群整備陸曹との連絡を密にして可動率一〇〇パーセントをはかっていきたい。

三の項については、隊員に有・無線器材の操作、簡単な故障研究、故障排除とを教育し普及を実施することによって、通信への興味、関心が生ずると思う。それが必通の精神の育成につながると思う。

それを少しでも多くの隊員に持ってもらうことが、指揮及び運用活動画より円滑に行われ、それが任務の達成につながる一つの大事な要因になると思う。

第三四二施設中隊
二等陸曹 菊池 勝博

「自分の事も口々にできないのに、人の事なんかできるか」と思っている人達が沢山いる世の中に、人の為に行動することは難しい事だと思っています。

今年、どこまでできるかわかりませんが、自分の為ではなく、家族の為、人の為に行動しようと思っています。

人間は、やはり自分自身が一番かわいいものです。家族の為に、みんなが努力しますが、他の人の為には、なかなか行動ができません。中には、ボランティア活動で、仕事をしている人達がいいますが、「よく他の人達の為にできるな」と思った事がありました。

「自分の事も口々にできないのに、人の事なんかできるか」と思っている人達が沢山いる世の中に、人の為に行動することは難しい事だと思っています。

今年、どこまでできるかわかりませんが、自分の為ではなく、家族の為、人の為に行動しようと思っています。

第三四二施設中隊
二等陸曹 菊池 勝博



新年交礼会を実施

岩見沢駐屯地では、一月五日(土)新年交礼会を実施した。

交礼会は、地元選出の国会議員を初め、岩見沢市長他広報隊区内の四カ市町村町長及び有識者等、約百五十名が来隊し盛大におこなった。

祝賀会食に先立ち、司令が「昨年は皆様の御協力により任務を完了することが出来た。平成三年は、東西緊張緩和とはいえず、湾岸危機を始め、世界情勢は依然として厳しいものがある。我が岩見沢自衛隊は「世界一精強な部隊」地域に貢献する部隊の二本を柱にして隊務を運営し、皆様の期待にこたえるべく前進する覚悟であり、より一層の御

協力をお願いしたい」と挨拶し、来賓各氏に強い印象を与えた。

祝賀会食では、隊員による尺八にあわせ詩吟、書道、華道及び茶道のクラブ活動を披露する等、和やかな雰囲気の中にも活発な意見交換が行われ、有意義な時間を過ごし、平成三年の好スタートを切った。

開会に先立ち、隊長は「己の敵は自分であり、他隊の優技者である。今日は自分の記録に挑戦し頑張ってもらいたい。」と訓示。競技は、各中隊一名ずつ計六名が組になり、一分間隔でスタートして開始した。



祝賀会食の様子

群冬季競技第三三七施設中隊優勝

第十二施設群は、一月十七日、岩見沢駐屯地及び孫別演習場において、冬季競技競技会(スキー)を実施した。

冬季競技競技会は、駐屯地在任の五個中隊と第三四二施設中隊(名寄)一個チームの計六個チーム、合計二百二十一名の隊員が参加し、中隊対抗方式により競われると同時に、第三施設団冬季競技競技会の群代表選手選考を兼ねて行った。

開会に先立ち、隊長は「己の敵は自分であり、他隊の優技者である。今日は自分の記録に挑戦し頑張ってもらいたい。」と訓示。競技は、各中隊一名ずつ計六名が組になり、一分間隔でスタートして開始した。

大会当日は、絶好の天気恵まれたものの、道内有数の豪雪地帯である岩見沢も、今年には異常気象による雪不足のため、最悪のコースコンディションで実施する結果となった。

それでも選手は、中隊の名誉と個人の栄光のため、それぞれ自分の記録に挑戦していた。

また、今年の冬初めてスキーを経験した隊員(新補職者)は、悪戦苦闘しながらも、一秒でも早く走ろうと必死に頑張る、やっとなゴールする隊員もいた。

群は、本大会の成果を資として引き続き更に厳しい訓練を積重ね、第三施設団冬季競技競技会の優勝を期している。

競技会の成績

団体の部

優勝 三三七施設中隊
準優勝 三四二施設中隊
第三位 三三六施設中隊

個人の部

三三六施中 五十嵐英樹一位
三三七施中 下浅 勝雄二位
三三七施中 河原 裕幸三位
三三六施中 江藤 省吾四位
三三五施中 林 勝則五位
三三五施中 山口 和人六位

家族スキー教室

岩見沢駐屯地では、一月十六日から十八日の三日間、駐屯地スキー山で家族スキー教室を開催した。

スキー教室は、青少年・婦人層を対象として、豪雪地帯岩見沢の冬を楽しんでもらうとともにスキー技術の向上を目指し目的で例年行っている。今年も、例年になく雪不足のため、当初の計画を順延するとともに中止も考えていたが、家族からの強い要望にこたえ、駐屯地業務隊隊員が雪集めをしてゲレンデを整備し、開催した。

開会式で、司令が「今年も怪我をしないようにして、スキーを楽しんで下さい。」と挨拶し、三日間にわたるスキー教室を開催した。

今回参加した家族等は、三日間で延べ百八十四名で、スキー連盟の指導員・準指導員の資格を持った隊員から、基礎から応用まで中身の濃い指導に、疲れを知らない子供達もいざさかまいった様子で一生涯懸命頑張っていた。

自衛隊のスキー山にはリフトがなく、滑るためには歩いて登らなければならないので体力向上にも役立つと、家族の人達は話していた。

スキー教室の最後、司令から初級・中級・上級の終了証が受講者の一人一人に手渡され、子供達は喜びに満ちあふれ、満足した顔をしていた。

また、アトラクションとして、参加者全員による恒例のミカン拾いを楽しみ、子供達は準備したナイロン袋一杯になったミカンを見せながら元気に家路についた。



家族スキー教室の様子

工事除雪今年

岩見沢市道 鳩が丘上志文線 他二路線 約6km	第三二二施設	担当	隊長・隊員
北村道 砂浜沿岸線 他四路線 約十五、六km	器材中隊	進出二尉	以下八名
			以下十二名

新成人おめでとう

- 齊藤 謙 長谷 英明 平野 隆 倉田 雅章
- 近藤 貢紀 出口 博 高橋 正之 秋田 好胤
- 亀石 満明 田川 貴久 高田 健二 森田 哲也
- 山田 隆 塩崎 伸次 興梠 晃 元木 学
- 森田 一法 後藤 兼三 岡 政志 高田 重徳

調理実習

岩見沢駐屯地では、一月七日から十二日までの六日間、光塩女子短期大学の調理実習を支援をした。

調理実習は、毎年二、三回実施しているもので、今回は岩見沢市三名、美唄、三笠、栗沢町出身各一名、計六名が参加した。

糧食班長 高見二尉の指導のもと、六日間の調理実習で最初は、規模の大きさに圧倒



調理実習の様子

されていたが、慣れるにつれて献立の作成及び栄養管理並びに調理配食等に大奮闘していた。

実習を終えた栄養士の卵たちは「隊員さんに協力していただき中身の濃い実習が出来ました。栄養士になっても忘

れる事の出来ない貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。」と挨拶した。

駐屯地では調理実習支援を継続し、優秀な栄養士を育てる手助けをする予定である。



調理実習の参加者

スナック
ピットイン

岩見沢市3条西1丁目 ☎ (0126) 23-5094番

おしゃれの店
洋品のマルカワ
高橋 邦夫

岩見沢市3条東1丁目 ☎ (22) 1224



平成2年訓練始め



冬季戦技競技大会



意見発表会

岩見沢駐屯地

'90のあしあと



体育館落成



駐屯地創立記念式典



スナッフ写真展



方面施設訓練



訓練検閲



志方方面総監初度視察



夏休み子供キャンプ



夏まつり踊りパレード



駐屯地盆おどり大会

